

古文書解読学習講座

3月28日 下伊那の歴史学習



国指定 重要文化財の旧小笠原書院見学
1600年頃に建てられたと言われる素晴らしい造りの建物に、皆驚いていました。

隣接する資料館でも、普段勉強している古文書を読むなどして熱心に見学をしてきました。

今年最後の古文書学習のバスハイクは、下伊那地方の歴史散策です。これから開善寺や松岡城跡、大島城跡などを見学します。歴史好きにはたまらない1日ですね。





高森町にある松岡城跡と松源寺です。昨年まではどこにでもある地元のお寺が、今年は大河ドラマで井伊家の当主になる亀之丞（直親）が幼少から青年時代を過ごしたとのことで、平日でも観光バスが来て、入場制限がかかるほどの人気スポットになっていました。

住職さんの話では、直親はこの地で、1男1女をもうけ、その子孫は今でも飯田市内で商売をしているそうです。また、有名な「青葉の笛」は4年に一度お披露目されているそうです。

最後は、松川町にある大嶋城跡です。（写真下）織田軍の進軍に戦わずして城を明け渡してしまったという城ですが、それはそれは防備が見事な大きな城跡でした。この城をもってすればおそらく、織田軍も落城させるのに、1、2ヵ月はかかったのではないのでしょうか。そうすればそのあとの高遠城に攻め込まれる前に、本能寺の変がおき、高遠は無事だったかもしれません。そう考えると歴史は奥が深く面白いなあと、皆それぞれの思いでこの城跡を見学しました。やっぱり歴史は面白いですね。



10月26日 高遠城址めぐり



古文書解読学習講座とは、美簗地区や高遠などに残っている古文書を教本に、くずし文字を読む学習を月1回公民館で行っています。その中で歴史の勉強で野外学習を行います。今年は高遠城址周辺を学習しました。その昔高遠藩の子ども達が学んだ進徳館で、春日先生の教えをいただきました。

